

教材・教具名	ひとみちゃん
対象児童生徒	中学部 標準学級
制作のねらい	・ 遠くにある物体について、凸レンズ（虫眼鏡）を通して見ると、逆さまの像ができることに気付かせる。 ・ 自分で凸レンズを動かさずに実像が見える教具を作りたかった。 ・ 感覚器官の導入で使用し、それぞれの刺激が受容しやすいつくりになっていることに気付かせたい。
使用法 及び 効 果	〈使用法〉 ・ なるべく明るい日に凸レンズを外に向けて、像をスクリーンに映す。 〈効果〉 ・ 凸レンズを通して、像ができることに気付くことができる。 ・ 凸レンズを通してできた像が逆さまになっていることに気付くことができる。 ・ 目と同じ構造だと説明すると、今見ている風景が逆さまになっていないことに気づき、目などの感覚器官に興味・関心をもつことが期待できる。
作り方	・ 凸レンズ（虫眼鏡）とポリエチレン製のどんぶり、トレーシングペーパーを用意する。 ・ どんぶりの底面を切り抜き、凸レンズとトレーシングペーパーをそれぞれ貼り付ける。（両面テープがよい） ・ それぞれのどんぶりを写真のように貼り付ける。 〈注意〉 どんぶりのトレーシングペーパーにピントがきれいに合う凸レンズを見付けることが難しい。
使用に際しての 留意点・ その他	太陽を見ない
教材・教具写真	 